

開発許可の変更手続きの記載例及び注意点

[A]変更許可申請(及び[B]軽微な変更届)の場合

2. 変更事項説明書

(記載例)

① 設計の変更

- ㊦ 開発区域の除外 $A=1,200.00 \text{ m}^2 \Rightarrow 1,100.00 \text{ m}^2$ (除外 100.00 m^2)
- ㊧ 擁壁の変更 擁壁 $H=2.50\text{m} \Rightarrow 2.10\text{m}$
- ㊨ 地盤高の変更 宅地 $FH=14.00\text{m} \Rightarrow 13.60\text{m}$
- ㊩ 排水施設の変更 施設の流末、延長、位置等
その他の場合も具体的に記載して下さい。

② 新たな土地の編入(①敷地形状の変更)

変更前の開発区域面積 $A= 2,568.55 \text{ m}^2$ \Rightarrow 変更後の開発区域面積 $2,588.67 \text{ m}^2$ (編入 20.12 m^2)

③ その他の変更(②その他の変更)

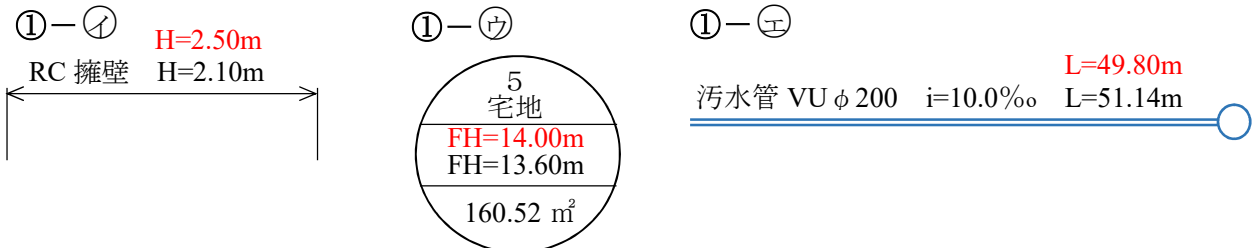
変更前の工事施行者(A社)	変更後の工事施行者(B社)
住所 〇〇市〇〇〇丁目〇番地	住所 △△市△△△丁目△番地
氏名 株□□□□ \Rightarrow □□□□(株)	氏名 代 □□ □□ \Rightarrow 代 □□ □□

(注意点)

- ・変更内容の種別(①、②、③)が1つの場合は、先頭に番号を付けないで下さい。
- ・「①設計の変更」及び「②新たな土地の編入(①敷地形状の変更)」の()内の記載は面積の増減に合わせて“除外”または“編入”と記載して下さい。
- ・「②新たな土地の編入」及び「①敷地形状の変更」では区域面積の値に変更がない場合でも変更許可対象です。(例 除外と編入がそれぞれ同面積で開発面積は変わらない場合)

3. 変更箇所説明図

(記載例)



7. 変更箇所に係る各図書

変更内容に応じて、変更後の各図書を添付してください。

(必要書類)

- ・面積や区画数に変更がある場合 : 「設計説明書」(自己居住用では「設計概要書」)等
- ・公共施設に関する変更がある場合 : 「新設する公共施設一覧表」等
- ・新たな土地を編入した場合 : 「公図の写し」、「登記事項証明書(登記簿謄本)」、「権利者一覧表」、「施行等の同意書」等
- ・工事施行者の変更の場合 : 「工事施行者の能力に関する申告書」等(当初許可申請で添付している書類一式)
- ・擁壁や排水施設を変更し当初の計算書に変更が生じる場合 : 「構造計算書」等

(必要図面)

- ・面積や区画数に変更がある場合 : 「求積図」
- ・公共施設に関する変更がある場合 : 「実測図に基づく公共施設の新旧対照図」
- ・計画地盤高、擁壁タイプ等の変更がある場合 : 「造成計画平図」、「断面図」、「詳細断面図」等(変更部分を赤枠等で表示して下さい。)

[C]変更事項届の場合

変更事項の内容の記入欄に \square マークし、変更内容を具体的に記載して下さい。

(記載例)

- ・排水施設の位置(長さ、構造等)の変更
- ・擁壁(土留め)の位置(長さ、構造等)の変更

※変更箇所説明図を添付する場合は上記の「3. 変更箇所説明図」の記載方法と同じです。

変更に関与しない変更の場合

[A]～[C]の変更に該当せず、確定測量誤差や施工誤差等により当初許可時等との面積数値が一定の範囲(面積が些少で理由が妥当であることが必要)で異なる場合は、工事完了図にその旨を表示して下さい。

(記載例)

当初許可時の開発面積 1,234.56 m²
確定測量結果の開発面積 1,234.68 m²